

# 持続可能な町を目指して

## Vol.7

### 小野町が目指すべきもの

人口減少と少子高齢化が進む中、町総合計画を基本とし、人口減少傾向の抑制と長期的に持続可能なまちをつくるための5年間の計画としてスタートした「まち・ひと・しごと創生総合戦略(2020改訂版)」に掲げる具体的な取り組み内容を広報おのまち5月号から連載してきました。

この戦略には、地域の特色や資源を生かした、住民に身近な施策を幅広く盛り込んでおり、安心して働き、子どもを産み育て、住民一人ひとりが生きがいを感じることでできるまちづくりを目指しています。

また高速道路網の活用や豊かな自然などの町の魅力を積極的に情報発信し、「小野町の応援団」を一人でも多く獲得し、交流人口や定住人口の増加を目指しています。

これらの目指すべき目標を達成するためには、住民と町が人口減少に対する危機感を共有し、未来を見据えた中で、それぞれが立場に応じた取り組みを実行しなければなりません。町も職員の意識改革を図り、地方創生を加速させる取り組みを推進しますので、住民の皆さんには引き続き地域活動への積極的な参加を通じ、住み良いまちづくりにご賛同ください。

### 新たな時代に向けて

新型コロナウイルスの感染拡大は、新しい生活様式への転換を迫るなど、私たちの生活を大きく変化させています。

現在のウィズコロナ期を悲観せず、「地域の魅力を再発見する期間」と捉え、都市と地方との「人口のシェア」ともいえる「関係人口※」との関わりを深め、小野町に関心を持ち、好きになってもらえるよう、アフターコロナ時代を見据えた人口対策を講じます。

※「関係人口」とは、観光に来た交流人口や移住した定住人口とは違い、特定の地域と継続的に関わる、観光以上・定住未満で地域と深い関わりを持つ人々(実家がある、親戚がいる、過去に住んでいた、仕事をしていたなど)

